

道の駅・鉄道を活用した地域密着型の共同配送モデル検討事業

協議会名:鳥取県生活物流インフラ推進協議会(仮)

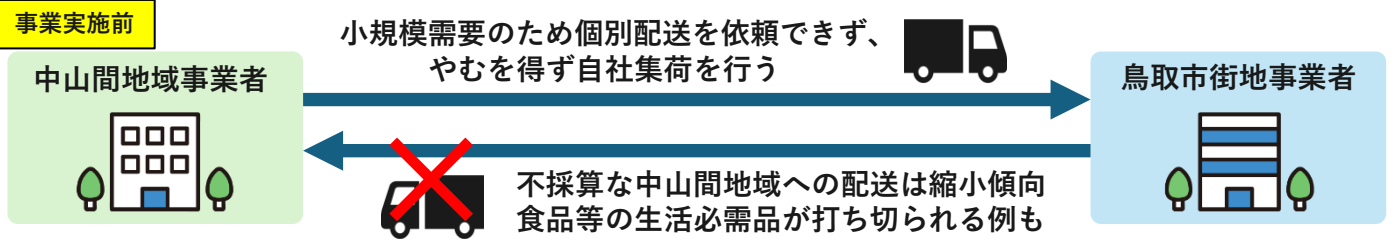
協議会構成員
アクシスITパートナーズ株式会社、八頭町、
株式会社山陰合同銀行、株式会社サンマート、
八東地域振興株式会社

【事業実施背景】
県庁所在地の鳥取市から国道29号を介し繋がる中山間過疎地域である八頭町・若桜町では、採算性の観点から物流サービスの縮小が著しく、自社配送を余儀なくされるケースも多い。またローカル線の鉄道資源や町営バスに活用の余地を残している。

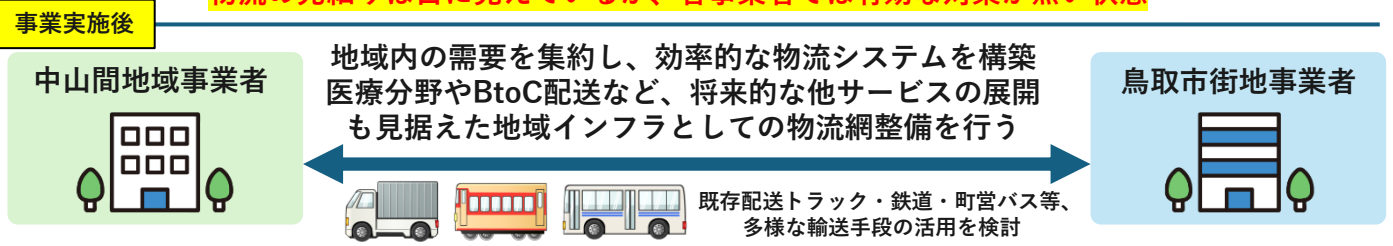
事業内容

Point


地域内の各事業者が自社配送を行っている非効率な状態を可視化。各地域の需要を集約した共同配送モデルを構築し、事業者がコア業務に注力できる環境を生み出す。また第三セクター運営である鉄道路線「若桜鉄道」の物流分野での活用や、地域住民による共助でのラストワンマイル配送モデルの検討・設計を行う。



物流の先細りは目に見えているが、各事業者では有効な対策が無い状態



想定事業実施効果

【共同配送活用事業者数獲得】(なし → 30事業者)
これまで各事業者がそれぞれ車両と運転手を手配していたものが、1つに集約され効率化が可能に
コア業務注力による生産性向上も期待できる

【公共交通機関の貨物運送活用幅の拡大】
通常利用や観光方面での活用のみで、貨客混載の
余地を残していた鉄道・路線バスを活用し、収益性
の向上に繋げる効果が見込まれる

【ラストワンマイル共助配送人材の定着】
地域住民が近隣宅の荷物を代わりに届ける共助モ
デルでのラストワンマイル配送の仕組みを検討
持続可能な物流システム構築を実現する